

<b>経済学基礎</b>		<b>准教授 中村 一成</b>	
<b>科目カテゴリー</b>	<b>国際ビジネス学科の必修科目 教職科目</b>	<b>科目ナンバリング</b>	<b>21200103 25310101</b>

### 1. 授業のねらい・概要

本講義のねらいは、経済学の基礎的な概念と方法を習得することである。

我々は生きていく過程で経済的な営みから逃れることはできないし、また我々が生きていく社会的環境もまた経済的な構造を基盤としている。そのため我々がより良く生きていくためには、そうした経済を分析する道具としての経済学の知識と理解は必要不可欠である。

もともと、今日の経済学という学問は高度に専門分化しており、またその過程で数学的な知識を織り込みながら発展してきた。しかし初学者の場合、数学的な理解の部分で躓いてしまうと、本当に大切な経済学の概念にたどり着くことができなくなってしまう。本講義では可能な限り数学的な方法に頼らないで、経済学の基礎的な概念と方法を理解することができるように進行したい。

### 2. 授業の進め方

受講者全員がテキストを予習してくることを前提として、毎回の授業の冒頭で小テストを実施する。それを踏まえてテキストにもとづく説明を行い、授業の最後にもう一度まとめの小テストを実施する。受講者はテキストの予習復習を欠かさないでほしい。

### 3. 授業計画

1. イントロダクション	9. データと統計
2. 経済学的思考様式	10. GDP, 物価, 景気
3. 価値	11. 経済成長
4. 機会費用と埋没費用	12. 経済政策
5. 競争と規制	13. 再分配
6. 費用削減	14. 割引率
7. 情報の非対称性	15. 人口と経済
8. ゲーム理論	

### 4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

今回の講義で扱うテキストの該当部分をあらかじめ読んでおくとともに、分からない用語の意味を調べておくこと。必要な時間の目安は90～120分ほど。

### 5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

定期的に小テストの成績を掲示する。また、期末試験終了後に正答一覧を掲示する。

### 6. 授業における学修の到達目標

経済学の基礎的な概念と方法を習得すること。

### 7. 成績評価の方法・基準

毎回実施する小テスト（50%）および期末試験（50%）によって評価する。

### 8. テキスト・参考文献

【テキスト】

飯田泰之『思考をみがく経済学』（NHK出版、2014年）

飯田泰之『日本がわかる経済学』（NHK出版、2014年）

**9. 受講上の留意事項**

授業開始時刻になったらすぐに小テストを開始するので、遅刻をするとこれを受験できない。授業開始時刻には教室で着席していること。